

地域密着型金融の 取組み状況について

平成23年5月



清水銀行



1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

目利き能力をさらに強化して、お客さまの様々な成長段階に合わせたアドバイス・各種手法の活用等を行うことにより、お客さまを支援し地域の金融円滑化を図る。

(1) 創業・新事業支援

地域における創業・新事業を支援するため、起業・新事業展開に資する情報の提供、資金供給等、お客さまの成長段階に応じた適切な支援を行う。

(2) 経営改善支援

地域経済の持続的発展に寄与するため、コンサルティング機能や情報提供機能の一層の充実等により、お客さまに対する経営改善支援機能の強化を図る。

(3) 事業再生支援

事業再生スキル・ノウハウの向上、外部機関・外部専門家との連携を強化して、支援先企業の実態にあった再生手法を選択していくことにより、事業再生業務の質の向上とスピードアップを図り、当該企業の再生のみならず、地域の再生へつなげる。

(4) 事業承継支援

お客さまの事業承継に関するニーズを的確に汲み取り、地域情報ネットワーク、外部専門家等との連携による情報を活用しながら、本部・営業店が連携を強化して事業承継支援に取り組む。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

お客様の将来性や技術力を的確に評価する目利き能力の向上により、不動産担保・保証に過度に依存しない融資を促進するとともに、資金調達手法の多様化への対応を進めて地域の金融円滑化を図る。

(1) 資金調達手法の多様化への取組み

多様化するお客様の資金ニーズに対応するため、シンジケートローン、A B L（動産担保融資）などを活用し、資金供給機能を強化する。

(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

お客様の技術力や将来性を的確に評価できる「目利き能力」をもった人材の育成を図り、不動産担保、個人保証に過度に依存しない融資の推進を図る。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

地域産業の活性化や地域企業の競争力強化を支援するとともに、地域のかかえる諸問題の解決などに地域金融機関として積極的に参画し、地域全体の活性化に貢献する。

(1) 地域への多様な金融サービスの提供

お客様のニーズに対応した様々な金融サービスの提供や利便性の向上を図る。

(2) 地域と一体となった地域活性化への取組み

地域金融機関としての社会的責任を果たすため、地域全体の活性化・持続的な成長を視野に入れた取組みを行う。

地域密着型金融の取組み



清水銀行

1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(1) 創業・新事業支援

今後の地域活性化の一翼を担うことが期待される、創業者・新事業に取り組むお客さまを支援する融資を実施しました。

平成22年度中

47件

489百万円

(2) 経営改善支援

地域経済の持続的発展に寄与するため、コンサルティング機能や情報提供機能の一層の充実を図るため、ビジネスマッチングを実施しました。

平成22年度中

229件

お客さまの中長期的な経営改善計画の策定を支援することで、コンサルティング機能の発揮に努めました。

平成22年度中

103先

地域密着型金融の取組み



1. ライフサイクルに応じた取引先企業の支援強化

(3) 事業再生支援

企業サポート部が主体となって、中小企業再生支援協議会や外部コンサルタントと連携して、事業再生支援に取り組めました。

経営改善支援等の取組み実績									
[22年4月～23年3月]		(単位:先数)							
	期初債務者数 A	うち 経営改善支援 取組み先	のうち期末に 債務者区分が ランクアップした 先数	のうち期末に 債務者区分が 変化しなかった 先	のうち再生計 画を策定した先 数	経営改善支援 取組み率 = / A	ランクアップ率 = /	再生計画策定 率 = /	
正常先	5,582	17		5	6	0.3%		35.3%	
要注 意先	うちその他要注意先	3,412	205	10	184	6.0%	4.9%	43.4%	
	うち要管理先	15	1	0	1	6.7%	0.0%	0.0%	
破綻懸念先	311	21	3	14	8	6.8%	14.3%	38.1%	
実質破綻先	149	2	0	2	0	1.3%	0.0%	0.0%	
破綻先	37	0	0	0	0	0.0%	-	-	
小計(～の計)	3,924	229	13	201	97	5.8%	5.7%	42.4%	
合計	9,506	246	13	206	103	2.6%	5.3%	41.9%	

(4) 事業承継支援

事業拡大・事業再編および事業承継に関するM&A等に外部機関と連携して取り組んでおります。

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(1) 資金調達手法の多様化への取組み

多様化するお客さまの資金ニーズに対応するため、A B L（動産担保融資）制度を導入し、資金供給機能の拡充に努めました。

平成22年度中

2件

147百万円

～地球温暖化対策加速化支援融資制度～

地域のお客さまの環境保全に対する活動を支援するために「地球温暖化対策加速化支援融資制度」の取扱いを開始しました。

本制度は地球温暖化対策にかかる設備資金を対象に、二酸化炭素排出量削減に関する誓約を行うことを条件として（財）日本環境協会を通じて3%を上限に3年間利子補給がなされます。

また当行所定の「環境格付制度」に基づいて、お客さまの環境に対する取組状況に応じ、最大で0.2%の金利優遇を行います。

平成22年度中

1件

2. 事業価値を見極める融資手法をはじめ中小企業に適した資金供給手法の徹底

(2) 企業の将来性、技術力を的確に評価できる能力等、人材育成への取組み

お客様の技術力や将来性を的確に評価できる「目利き能力」をもった人材の育成を図るため、行内研修や土曜講座を中心に研修体制の充実化を図りました。

研修参加延べ日数（研修参加人数×研修日数）

平成22年度中 6,857日



～ 渉外実践研修～

お客様の多様な資金ニーズにお応えすべく各種制度融資活用に向けた研修を実施。研修を通じてお客様の新事業・商品開発に係る「経営革新計画*」申請のサポートを行い、29件が承認されました。

*中小企業新事業活動促進法に基づく事業者の経営革新支援。計画が承認されると販路開拓支援、補助金支援、税の優遇等様々な支援が受けられる。

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域への多様な金融サービスの提供

～ 海外進出企業への支援強化～

(社)静岡県国際経済振興会(SIBA)及び大手金融機関との連携(平成23年4月から)により、お取引先の海外進出や事業展開に対する支援体制を強化しました。

< 支援内容 >

- ・ 情報提供(進出希望先の市場動向・法規制、助成金、各種セミナーの開催等)
- ・ ビジネスサポート(国際展示会・商談会の紹介、現地視察等)
- ・ 海外進出に関する各種相談(貿易相談、輸出入手順、現地法人設立アドバイス等)
- ・ 進出先での資金相談

社団法人静岡県国際経済振興会

SHIZUOKA
INTERNATIONAL
BUSINESS
ASSOCIATION

SIBA

< 設立目的 >

静岡県の貿易の振興に関する事業を行うとともに、県内中小企業の国際化を推進し、もって静岡県経済の発展に寄与すること

< 活動内容 >

1. 海外取引に関するセミナーの開催
2. 貿易相談
3. 国際規格に関するセミナーの開催、アドバイス
4. 地域の国際取引事業支援
5. 展示会・商談会の開催
6. 海外拠点による情報収集、提供など

地域密着型金融の取組み



清水銀行

3. 地域の情報集積を活用した持続可能な地域経済への貢献

(1) 地域への多様な金融サービスの提供

～しみずミニレポートを全面リニューアル～

従来、当行の取組みや決算概要を掲載して年2回発行しておりましたが、当行の主要営業基盤である静岡県の活性化という願いを込め、全面リニューアルし、静岡県の地域・企業（お取引先さま）の情報も掲載しました。「地域に密着し、地域とともに成長する」という想いのもと、地域の皆さまのお役に立ち、地域が元気になる情報発信ツールを目指しております。

SHIMIZU BANK
Local Partner 2018



(2) 地域と一体となった地域活性化への取組み

～金融経済教育活動～

地域の学生は地元企業への就職率が高く、次世代を担う学生に対して金融に関する知識を広めることで、地域活性化に努めております。

平成22年度中

静岡県立大学 経営情報学部「地域金融論」

受講者

76名

インターンシップ（大学生対象）

24名

ワークラリー（大学生対象）

24名

職場体験学習（高校生対象）

4名